

開催日時	令和5年12月22日（金） 19時30分～21時30分
開催場所	zoom
出席者	代議員参加者：大塚・城戸・峯・北嶋・金岡・森岡・高本・宇渡・伊原 理事参加者：小森・木澤・小山
欠席者	富田・島田
記録者	木澤
議題 1	1 第1回懇話会の振り返り 2 「代議員・理事連絡会（仮）」の運営の詳細 3 「代議員・理事連絡会（仮）」での意見交換するテーマの絞り込み
<b>【内容】</b>	
<b>テーマ：代議員・理事連絡会で優先的に取り上げるテーマについて</b>	
第1回懇話会での「意見のまとめ」から、優先的に連絡会で議論すること	その理由
運営の「見える化」・情報発信力強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入会率が課題であり、県士会の方向性を明確に示すべき。</li> <li>・情報不足。生涯学習プログラムの導入について、その仕組みが会員には伝わっていない。仕組みをわかりやすく説明できておらず、学習しやすい環境になっていない。</li> <li>・SNSなどで診療報酬改定の女医法が拡散されているが、発信元が協会や士会出ないのが残念。</li> <li>・ペーパーレスになり士会だよりも読まなくなった。</li> </ul>
県士会への関心度を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入会のメリットと継続のメリットが示せていない。</li> <li>・県士会への関心が薄れており、関心を引くためには情報の発信や魅力的な研修が必要。</li> <li>・入会率を上げて組織率を上げなければ対外的に意見を聞き入れてもらうこともできず、賃金も上がらない。</li> <li>・新人の入会率が上がっても、退会者を抑制できなければ意味がない。会員のメリットをアピールすることが重要。</li> <li>・年配のPTの士会への関心が低く、士会活動への理解が得にくい。</li> <li>・仕事を押しつけられるイメージがあり、ネガティブな印象がある。</li> <li>・施設の上司の教育がないと入会率は低くなる。</li> <li>・認定制度を病院内でもっとアピールするべき。病院ホームページに掲載するなど。</li> </ul>
<b>【決定事項】</b>	
<p>・「代議員・理事連絡会（仮）」の意見交換の際のテーマを「新人、経験者問わず理学療法士の県士会への関心をどのように高めるか」とし、支部別に意見交換会をする。</p>	
次回の予定日時・場所	日時：令和6年2月2日（金） 19時30分～21:30 ZOOM
今後の予定	第3回で同意した「代議員・理事連絡会」の運営の詳細と代議員の役割を理事会で審議し、来年度以降に実施の見通しを立てる。